

パソコン講師のツボ

- 講師を実施するための基礎知識 -

参考資料: 講師トレーニング(富士通ラーニングメディア)

はじめにー講師に必要なものー

1. 講座内容の知識

講座の内容(テキストの内容、アプリ)の知識

2. プレゼンテーション技術

人前で話すための技術

3. インストラクション技術

講習会を実施するために必要な知識

4. マナー

受講者と接する際の基本的マナー

1.講座内容の知識

- **テキストの熟読**
熟読し操作手順は確実に出来るようにする
- **アプリケーションソフト機能の把握**
Word、Excel、デジカメ等ソフト・ハードの機能を知る
- **操作内容・操作方法の修得**
同じ結果について複数の操作がある場合には使用度
または優先順位をおさえる
- **マニュアル・仕様書の内容調査**
- **日常業務での活用法**

2.プレゼンテーション技術とは

聞き手の前提知識や経験を考慮して、話し手の表現する内容を、伝達したい内容に近付けるための表現・伝達の技術

- ①聞き手の前提知識・経験を踏まえる
- ②理解を助ける資料を準備する
- ③わかりやすい言葉や語句を用いて話す
- ④理解してもらおうとする熱意を持つ
- ⑤視覚メディアを使用する
- ⑥聞き手の理解度を確認しながら話を進める

2.プレゼンテーション技術(1)

●人前で話す

①声と話し方

- ◆ 適度な音量
- ◆ 適度なスピード
- ◆ 語尾を明確に言う／言い切る
- ◆ 抑揚・強弱のある声
- ◆ 活気ある話し方

2.プレゼンテーション技術(2)

●人前で話す

②語句の使い方

- ◆ 具体的な言葉
- ◆ 正しい敬語(丁寧な言葉使い)
- ◆ 無駄な口癖がない
- ◆ 新しい言葉(名称・機能等)の説明
- ◆ 用語の定義
- ◆ 専門用語の置き換え表現

2.プレゼンテーション技術(3)

●人前で話す

③態度

- ◆ 自信を持って話す
- ◆ 熱意をもって話す
- ◆ 落ち着きがある
- ◆ 姿勢が良い
- ◆ 力強さがある

2.プレゼンテーション技術(4)

●人前で話す

④適度な間合い

- ◆ 説明を適切に区切る
- ◆ 話のセンテンスを短くする
- ◆ 文と文の「間」を取る
- ◆ 視覚メディアを使い分ける

2.プレゼンテーション技術(5)

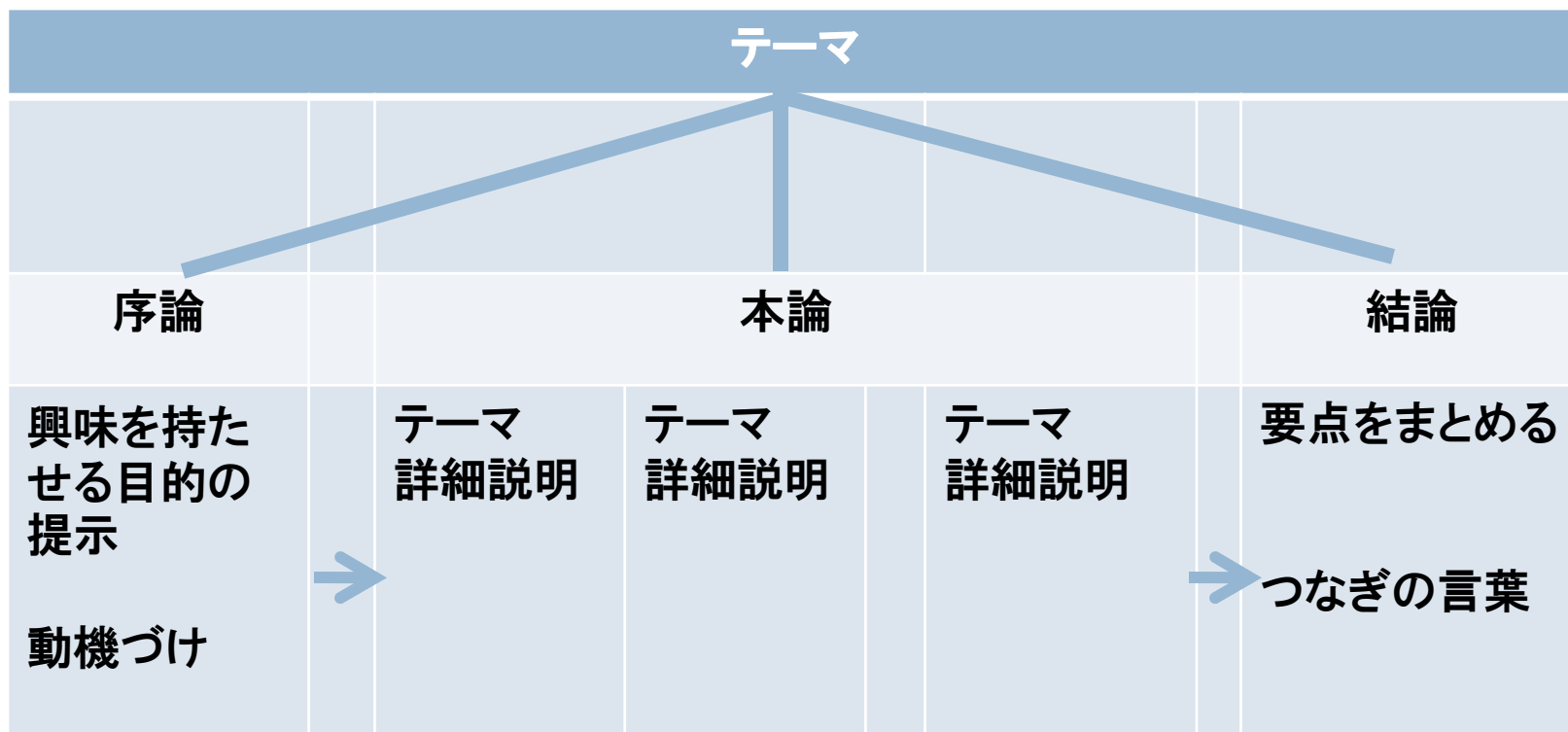
●人前で話す

⑤身振りや表現

- ◆ 視線を聞き手に向ける
- ◆ 適度にジェスチャーを入れる
- ◆ 適度のスマイルを入れる

3. ストーリーを考える

1. 序論・本論・結論

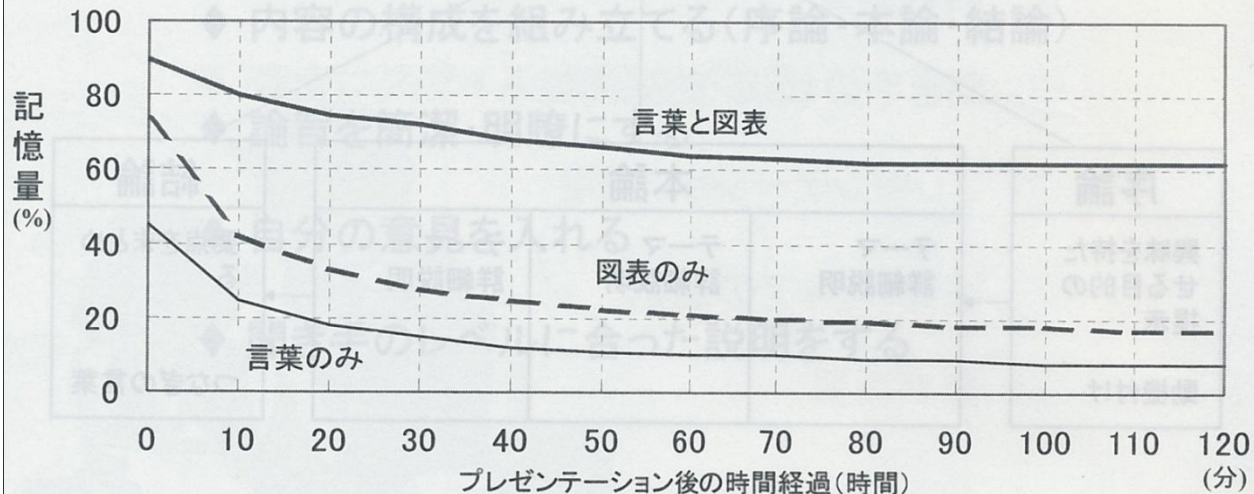


4. 視覚に訴えるプレゼン

2.5 視覚に訴えるプレゼンテーション

～言葉のみのプレゼンテーションより、伝達媒体を取り入れたプレゼンテーションを～

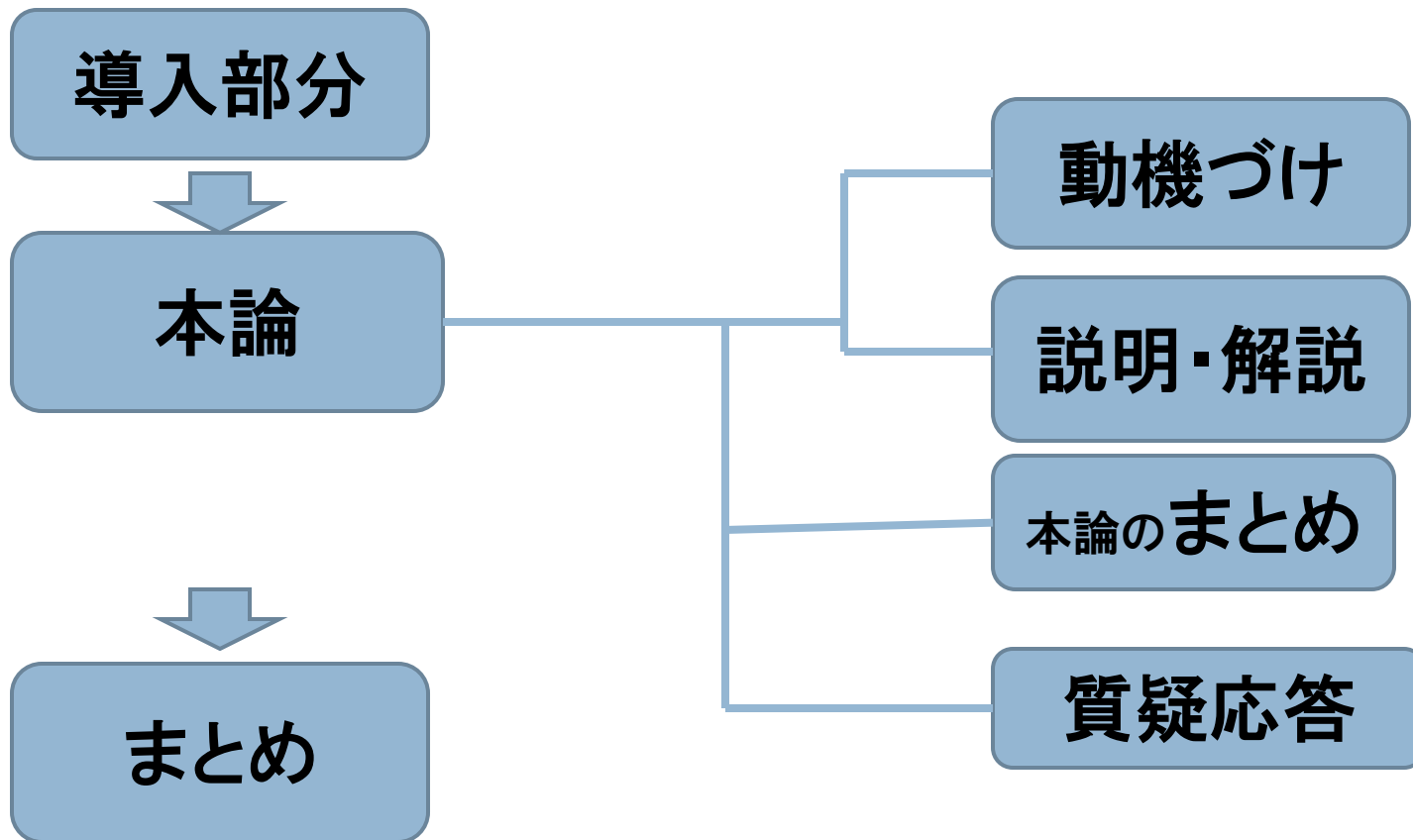
聞き手の情報記憶量



参考文献:「技術発表のすべて」(Woelfle著 丸善)

6. 講習会の実施(1)

1. 講習会全体の流れ



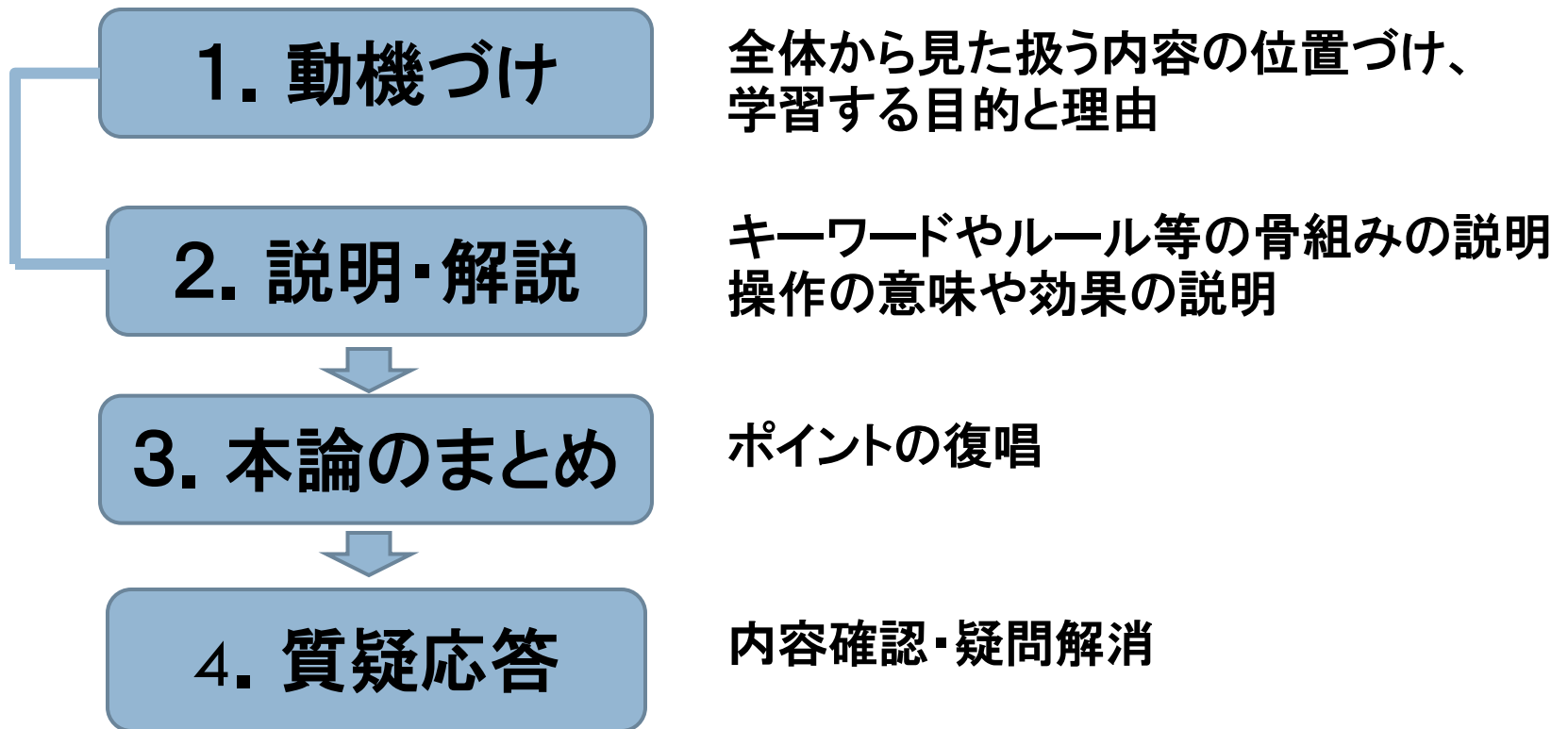
5. 講習会の実施(2)

2. 導入部分

- ①コース名の紹介(確認)
- ②講師の自己紹介・サポートの紹介
- ③配布物の確認
- ④講習会の内容・学習目標
- ⑤使用経験の確認
- ⑥講習会中の注意

5. 講習会の実施(3)

3. 本論 1つの機能に関する流れ



5. 講習会の実施(4)

① 動機付け

全体から見た扱う内容の位置づけ、学習する目的と理由を説明する

- ・本論全体
- ・章のはじめ
- ・項目のはじめ
- ・各操作のはじめ

説明を行うときは、まずはじめに動機付けを言う

6. 講習会の実施(5)

② 説明・解説

所定時間内にわかりやすい説明ができるように、あらかじめ説明展開・内容を計画する

- ・キーワードやルール等の骨組みの説明
- ・操作の意味や効果の説明

6. 講習会の実施(6)

③本論のまとめ

行ってきた章・項目の操作や説明のポイントを復唱する

次の章・項目に入るときは、まとめを踏まえて次の「つなぎ」も説明する

5. 講習会の実施(7)

④ 質疑応答

章の終りや講習会の区切りの部分で質疑応答の時間を取る

- ①「質問はありませんか？」と尋ねる
- ②質問を受けたら内容を確認し、受講者全員に伝える
- ③簡潔に回答する

6. 講習会後の反省・改善とまとめ

環境を元に戻す

質問と回答をまとめる

アンケートをまとめる

サポートの意見を聞く

よりよい講習
会が実施で
きるように改
善しよう

7. ケーススタディ

一様な問題に対処する方法を身につけようー

1. レベルの差への対処法
2. 初心者・高齢者に理解してもらう方法
3. 障がい者の講座での注意点
4. 受講者側の問題点
5. 講師の問題点

7. ケーススタディ

1. レベルの差への対処はどうする？

① 入門・基礎・初級コース

② 受講者の前提知識／使用経験の有無

③ サポートが付かない場合

7. ケーススタディ

2. 初心者・高齢者に理解してもらう方法(1)

◆初心者・高齢者にわかりやすい説明とはどのようなものかを考えてみましょう

- ・専門用語
- ・進め方の速度
- ・一度では理解できない
- ・難しいことから
- ・興味を持ってもらえない！

7. ケーススタディ

2. 初心者・高齢者に理解してもらう方法(2)

◆初心者・高齢者の受講者に対しては気をつけるべきことがあります。

- ①初心者に対して気をつけること
 - ・どのような態度で接するべきか
 - ・説明方法／手段をとると効率的か

- ②高齢者に対して気をつけること
 - ・どのような態度で接するべきか
 - ・説明方法／手段をとると効率的か

7. ケーススタディ

3. 受講者側の問題点

①勝手に先に進んでしまう

②操作が苦手・出来ない人が途中で諦めてしまう

③ドラッグ・ダブルクリックができない



おわり